

1 展覧会名

いきもの狂騒曲 -陶芸フィギュアの現在-

2 主催

茨城県陶芸美術館

3 会期

2019年9月7日(土) - 11月24日(日) 70日間開催

4 利用情報

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし、9月16日（月・祝）、9月23日（月・祝）、
10月14日（月・祝）、11月4日（月）は開館。）

9月24日（火）、10月15日（火）

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

5 観覧料

一般720(570)円 満70歳以上360(280)円 高大生510(410)円 小中生260(210)円

※（ ）内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
または指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方および付き添いの方
[ただし1人につき1人まで]は無料。土曜日は高校生以下無料。

11月13日（水）県民の日は入場無料

6 展覧会概要

日本において、人や動物などいきものをモチーフにした陶芸作品は、さまざまな時代に
祈りや愛玩の対象としてつくられ続けてきました。

そして、2000年前後になると、陶芸の世界に新しいスタイルの表現が次々と現れ始める
中、人や動物などのいきものを題材とした「フィギュア」と称すべき作品が登場しました。
作家自身が愛着や興味のあるいきものをモチーフに選び、モチーフが持つ魅力と陶芸なら
ではの表現の魅力とを、いかに融合させるかという課題に真正面から向き合うことで生ま
れた陶芸フィギュアは、単純なリアルさや可愛らしさだけではなく強烈な存在感を放って
います。

本展では、陶芸作家17名に、ガラス、革工芸、金工の作家4名を加えた、21名の作品に
より、現在盛り上がりを見せている、陶芸におけるフィギュアの魅力を紹介します。

広報文1（約40文字）

本展では、現在盛り上がりを見せている、陶芸におけるフィギュアの魅力を紹介します。

広報文2（約80文字）

本展では、陶芸作家17名に、ガラス、革工芸、金工の作家4名を加えた、21名の作品に
より、現在盛り上がりを見せている、陶芸におけるフィギュアの魅力を紹介します。

広報文3（約180文字）

モチーフの生き物が持つ魅力と陶芸ならではの表現の魅力とを、いかに融合させるか
という課題に真正面から向き合うことで生まれた陶芸フィギュアは、単純なリアルさや可愛
らしさだけではなく強烈な存在感を放っています。

本展では、陶芸作家17名に、ガラス、革工芸、金工の作家4名を加えた、21名の作品に
より、現在盛り上がりを見せている、陶芸におけるフィギュアの魅力を紹介します。

7 出品作家

〈陶 芸〉	さだまさ 今井完眞	おおがみ 大上伊代	岡村悠紀	はな 奥村巴菜	かがしら 鴨頭みどり	きたごうこう 北郷江
	鈴木りんいち	須藤忠隆	田崎太郎	けいこ 田原形子	根本裕子	林麻依子
	堀貴春	宮本果林	村山まりあ	結城美栄子	吉島信広	
〈ガラス〉	越川久美子					
〈革工芸〉	こうのこう 河野甲					
〈金 工〉	こうのみちお 河野迪夫	みずしろさとし 水代達史				

8 見どころ

- (1)生き物本来の形（リアリティー）と作り手の発想（オリジナリティー）が融合した作品の魅力
- (2)モチーフが持つ魅力と陶芸ならではの表現の魅力が両立した作品の魅力
- (3)物語や情景をイメージさせる作品の魅力
- (4)アクションフィギュアやアニメなどのサブカルチャー的は雰囲気が漂う作品の魅力
- (5)これまでに類を見ない、生き物をモチーフとした陶芸フィギュアをテーマにした展覧会

9 関連イベント

◆開会式および内覧会

- (1)日 時 9月6日（金） 午後2時から
- (2)会 場 当館1階 多目的ホール
- (3)その他 関係者、報道各位のみの参加となります。

◆ワークショップ「新聞紙で動物アート」（要予約）

新聞紙とセロハンテープを使って、動物をテーマにした作品をつくります。

- (1)日時：10月26日（土）10:00～15:00
※昼食の休憩時間を1時間程度とります。昼食はご持参いただくか、近隣のレストラン等をご利用ください。
- (2)会場：当館1階 多目的ホール
- (3)講師：畑岡佑輔氏（彫刻家）
- (4)対象：中学生以上（保護者の同伴により小学校5・6年生の参加も可）
- (5)参加費：無料（展覧会をご覧いただく場合は、別途観覧料が必要となります。）
- (6)定員：20名
- (7)予約：電話にて9月7日（土）9:30より受付開始（電話0296-70-0011）
※先着順。空きがある場合には当日参加もできます。

◆出品作家によるアーティストトーク（予約不要）

- (1)日時：9月21日（土）鈴木りんいち氏、田崎太郎氏
10月19日（土）岡村悠紀氏、須藤忠隆氏
11月16日（土）奥村巴菜氏、宮本果林氏
各日とも13:30から
※都合により講師が変更になる場合があります。
- (2)会場：当館地下1階 企画展示室
- (3)参加費：無料、観覧料にてご聴講いただけます。

◆ギャラリートーク（予約不要）

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

- (1)日時：9月14日（土）、10月12日（土）、11月9日（土） 各日とも13:30から
- (2)会場：当館地下1階 企画展示室
- (3)参加費：無料、観覧料にてご聴講いただけます。

10 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345（笠間芸術の森公園内）
TEL：0296-70-0011 FAX：0296-70-0012
広報担当：企画管理課 柴崎 e-mail：kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp
担当学芸員：学芸課 安田

11 出品作品画像

下記の作品画像は、広報担当の e-mail アドレスまでご連絡いただければデータをお送りします。使用の際には作品キャプションを併記してください。



①堀貴春 ^{トリコゴムフ} White Trichogomphus 2018年 個人蔵



②今井完眞 ^{さだまさ} シーラカンス 2018年 個人蔵



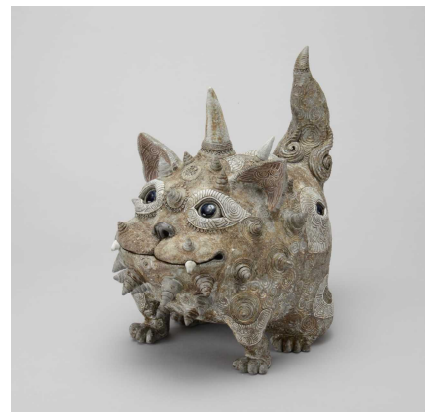
③北郷江 ^{きたごうこう} 壺の中 2016年 個人蔵



④吉島信広 白黒招き 2018年 個人蔵
撮影：Shinichiro Matsubara
©Nobuhiro Yoshijima



⑤奥村巴菜 ^{はな} ゾウムシ様 2015年 個人蔵



⑥田崎太郎 ^{おおねこがみ} 大猫神 2019年 個人蔵